

No.631 (改題591号)
2023年
10月11日(水)

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三成工業ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

ひょうご

71 碑 物語

昔、揖保川は瀬戸内海からの水運として、また、山陽道、美作道、因幡道の交通の要所として栄えた。たつの市新宮町背崎の揖保川に架かる背崎橋の東詰めには、当時、渡

寝釈迦の渡し碑

(たつの市新宮町背崎)

しがあつた。そして、渡り場の南西の川下に連なる山並が寝釈迦姿であることからこの名前が付けられた。

「この背崎は、因幡街道、別名駈落街道筋の宿場町で、この渡し場では道中の平安を祈り、西に向かう。駈落者は身の不考(碑文ママ)を詫言ひ、共に寝釈迦に手を合わせたと言ふ。また後醍醐天皇御西下の道筋でもあつた」と。

「たつの市新宮町背崎」に横たわっている、と見る人もいれば、昔は揖保川はもっと滔滔と流れており、川面に映った山影を含めて横を向いた釈迦であつたとの話もある。渡しのすぐ北側には屏風のようにほぼ垂直に岩肌がそびえる天然記念物「屏風岩」(8世紀の『播磨風土記』にも登場があり、それに連なる岩肌には5体の磨崖仏が彫られている。その一つの銘文には「文和3年(1335年)10月に藤原(以下解



因幡街道筋の宿場町であつた背崎の揖保川にはかつて渡しがあり、そこから川下に連なる山並が寝釈迦姿に見えた

読不能)とあり、藤原某の何回忌かに彫られたものと考えられている。これらを見てこの地が信

仰を集めた場所であることが窺える。(森山) 【メモ】JR姫新線・東背崎駅から北西へ約1km



齊加尚代監督の『教育と愛国』を観て「愛国」教育の現状を考えたついでに9月24日、高砂市

「日本は天皇を中心とした神の国」、(無党派層)は寝ていてくれればいい、

広げよう! 来年秋の一本化反対 STOP! マイナ保険証 市民の集い



講師の白石孝さんはマイナンバー制度、マイナカードの基本的な問題からマイナ保険証の具体的な問題点まで詳しく解説した=9月23日、神戸市長田区

問題多すぎ マイナカード

「健康保険証」を来年秋に廃止して「マイナカード」に一本化する法律が成立したが、不安・不信・疑問が広がっている。判明している問題点、実施後に予想される問題、政府がマイナカードの普及を急ぐ理由などについて理解を深める市民の集いが9月23日、長田区内で開かれ95人が参加した。主催は憲法を生かす会・西神戸連絡会(兵庫、北、長田、須磨、垂水の各区の会で構成)。白石孝さんの講演と現場からの報告を受け、世論を交えるインパクトのある課題なので、工夫を凝らして運動を広げることが確認された。



講演する白石孝さん

白石孝さん(プライバシーアクション代表)の講演は39枚のPDF資料にもとづいて詳細にわたった。以下はその要旨。

「番号」は日本居住者全員にすべくつけられているが、「カード」取得は任意。「カード」に個人のマイナ保険証は、カード取得の事実上の義務化と医療情報のデータベース化が目的だ。医療・介護現場は大混乱。特に介護では取得困難者が出る

情報を紐づけし、政府と様々な企業が活用しようとしている。 マスコミの報道も嘘が多い。国によってカードの扱いは千差万別。身分証としていない国は多く、イギリスはカードそのものが無い。

上にも、管理が難しく、労働者不足で対応できない。システム構築もお粗末で、セキュリティ対策も脆弱。制度・システム設計の根本的な転換が必要だ。」

講演後は、3つの現場からの報告を受けた。ろっこう医療生協から、「熱中症で運びこまれた方は顔認証ができなかった。介護業務では暗証番号の管理など深刻な課題になる。」

市役所では、「事前に丁寧な説明がなく、駆け込み申請で混乱。本人申請が徹底されていない。カードをすぐにもらえると思っている人、ポイントがキャッシュでもらえる」と信じ込んで怒り出す人などの対応に追われた。

最後に、「マイナカード問題は内閣支持率を大きく下げるほどインパクトがあり、身近な問題だ。議論を広げ、保険証廃止反対の署名に取り組み、一体化を廃案にするために頑張ろう」とまとめられた。(佐野)

高砂・平和を考えたついで 映画『教育と愛国』上映

平和憲法を守る高砂市民の会

平和憲法を守る高砂市民の会の秋の催し「平和を考えるついで」が9月24日、高砂市の福祉交流センターであり、23人が参加した。「新しい戦前」が急ピッチで近づきつつあるように感じる今、ギャラクシー賞受賞のドキュメンタリー番組に追加取材して映画化した齊加尚代監督の『教育と愛国』を観て教育の場ですすむ「愛国」教育の現状を学んだ。戦前の軍国主義への反省から、戦後の教育は常に政治と切り離されてきたが、2006年の安倍政権による教育基本法の「改正」により、戦後初めて「愛国心」が持ち込まれ、「教育改革」「教育再生」の名のもと教科書検定制度が目に見えない

力発揮していく。「道徳」が教科として復活し、教科書検定基準の変更で歴史の真実が歪められていく。沖縄集団自決、従軍慰安婦、強制連行などの記述がなくなったり、国や軍の関与が消えたり、加害事実には極力触れず、それに触れる教育をする。DVD上映後、しばしば意見交換して閉会した。(嶋谷)

水脈

「女性がたくさん入っている会議は時間がかかる」。失言・妄言癖で知られる森喜朗元首相だが、それに輪をかけて失言が多いのが麻生太郎自民党副総裁だ。8月に台湾で(中国への)抑止力を機能させようとする「戦う覚悟」が必要だ、とぶち上げた。仮にも平和憲法のもと日本の政治家が正気で口にする言葉がよ!と思った▼その麻生はなかなかまともなことを言った。岸田政権のいわゆる「安保三文書」改定をめぐり、政権内で専守防衛を理由にこれに反対する公明党をいかにして黙らせたか。要するに、岸田首相の「なんとなくきわめて誠実そうに見える顔。リベラルそうに見えるあの顔」が、公明党に改定を認めさせたと。岸田はリーダーシップがあるともちあげたのだ▼考えてみれば、安倍晋三の、「あのあたりに政権を渡すわけにはいかない」というムキムキの正面突破型方式に対して、岸田はふわーとした雰囲気の中で所期の「成果」をあげているようにも見える▼公明党の体たらくはともかく、この岸田流の幻惑にわれわれ自身も心しなければならぬのではないだろうか。

王子公園再整備基本計画(案)発表 10月31日まで市民意見募集

神戸市

神戸市はこのほど「王子公園再整備基本計画(案)」を公表した(「広報紙KOBEL」10月号中の「王子公園ミニニュース」か、市のHP参照)。

この案は、昨年12月に策定した、大学誘致ありきの「王子公園再整備基本方針」に基づくもので、各ゾーンの施設の具体的な整備内容や事業全体のスケジュール等を定めたものとしている。

しかし、6月には大学設置・運営事業者の優先交渉権者に関西学院が決定したことも含め、この案は、大学誘致の是非

や再整備の基本方針にわたって、多くの市民が署名やいろいろな集会で上げてきた疑問・反対の声、さらに市民サイドからの提案はまったく反映されておらず、ことごとく無視されたものと言わざるを得ない。

基本計画(案)では立体駐車場や新スタジアムのイメージ図は示されているものの、具体的な高さなどは示されておらず、大学ゾーンは具体的なイメージ図もない。また、懸念される樹木の伐採の規模や程度も不明で、指摘された諸問題について

兵庫たたかう仲間の集会 東海林智さん(毎日新聞記者)が記念講演



東海林智さん

では、「今後の検討に向けて」として検討課題だけが羅列されている。

神戸市はこの基本計画(案)に対する市民意見募集(パブリックコメント)を10月2日(月)31日(火)で実施する。改めて市民としての率直な声をあげていこう。具体的な方法は前記の二ユースカ市のHPで。

9月30日に開かれた「兵庫たたかう仲間の集会(3面に掲載)」で「ストなき時代に人らしく生きるための労働運動」と題した記念講演を行ったのは、長年、労働者に寄り添って労働問題や貧困問題などを取材してきた毎日新聞社会部記者の東海林智さん。

講演はストライキの話から始まった。「自分が記者の間にはストが再評価される日が来るとは思っていなかった。しかし、最近の動きはストなき時代ではなくてきているのかも。流れが変わりつつあるようだ」として、大手デパートとしては61年ぶりのストとなったそう。西武労組のストライキに至る経過

や事情、さらにはストの反応を自分の関わりも含めて詳しく伝えた。「ストとは最も縁遠い世界の労働者と自認していた百貨店労組が、交渉だけでは全く無力なことからストを決断したのだ。そしてそのストは社会にも好意的に受け止められた。

「ストは迷惑なものではなく、まともな交渉をしようと思えば、団体交渉を機能させようと思えば、スト権行使が正当な手段だというのが広がってきたのかなと思う」とし、「ストをしないと交渉がでなくなっている。

(1) 私はマイナカードを申請しない

私は若いころからよく物忘れをして、時には落とし物もした。不注意が原因だが、生きている間は避けられない。暑い夏は上着を着ないので、ズボンのポケットにスマホを入れて外出するが、靴を履くときつかえるのでスマホを式台に置くと、そのまま置き忘れてしまう。以前、敬老優待乗車証を神戸市が交付したことがあったが、紛失して再交付してもらったことがあった。

が13万件、別人の受取口座が748件、マイナ保険証に別人の情報が7300件余、さらにマイナポイントを他人に紐づけたのや、余分なお金を持っていない時の10割診察料の支払いは大変だ。また、別人の証明書発行もあったようだ。

行った。その結果によつては、行政指導も検討するようである。Yahooニュースは「政権に逆風、河野氏は外遊中、デジタル庁に立ち入り検査、勢いづく野党」と強調して立ち入り検査で岸田政権への逆風が強まっていると報じている。また、毎日新聞の7月22、23日の世論調査では支持率が28%であった。G7の広島サミットで5月は45%に上昇したが、今回は2か月で17%も下落した。

マイナトラブル続きの岸田政権にストップを

岸田政権にストップを

だがこれらは「1物1紛失」で済んだが、多くの紐付けを前提とするマイナカードはそうはいかず、持って歩く機会が増えるので紛失や悪用される機会がそれだけ増える。したがって、2万円欲しさにマイナカードで紐づけると、紛失やセキュリティの心配をしてストレスをためて、体調を悪くするから、持たぬが勝ちである。

(2) 保険医団体連合会のマイナトラブル件数の推計

マイナカードのトラブルが続出している。本人ではない家族名義の口座

外来における利用率から算出した係数に、保険連調査で判明したトラブル数を乗じて推計値を算出すると、保険資格の確認ができないので「無保険扱いで10割請求する件数が25万5千件」もあった。

(3) 政府個人情報保護委員会がマイナトラブルでデジタル庁を立ち入り検査

マイナカードに別人の銀行口座が間違っただけで、政府の個人情報保護委員会は7月19日、デジタル庁に立ち入り検査を

岸田政権は2万円国民を釣ったつもりだったので、健康保険証を廃止してマイナカードと一体化した「マイナ保健証」にする方針であった。しかし、相次ぐトラブルで、自主返納はカード発行開始以来7年間で累計約47万件であったから、1か月平均で5595件になった。トラブルが表面化した6月は、返納が約2万件に激増した。大事な銀行の貯金が他人に紐づけられたら大変だから、2万円

(4) 今年の4、5月で自主返納が急増

柳田勲次(熟年者ユニオン相談役、92歳)

改憲の動きをウォッチング

岸田首相「憲法改正の議論を進めるための布陣を強化」

岸田首相は内閣改組後の記者会見で「憲法改正の議論を進めるための布陣を強化する。強化によって覚悟を示したい」と強調した。

岸田首相は、2024年9月までの総裁任期中に改憲を実現すると、繰り返し断言している。その覚悟は変わっていないとの表明である。

■沖繩を再び戦場にさせない 11月に県民大会を予定 県民の会

戦争に反対し、幅広い層や世代による大衆運動を目指す全県組織として60以上の市民団体と個人でつくる「沖繩を再び戦場にさせない県民の会」は9月24日、沖繩市民会館で「9・24設立・キックオフ集会」を開いた。

(琉球新報)

岸田政権が安保関連3文書に基づき沖繩など南西諸島でミサイル配備や軍事力強化を急いでいるなか、集会では与那国島や宮古島、石垣島などから軍備増強に反対するた

も沈下することが予想される。

国の勧告に対する回答の期限だった27日、玉城知事は「期限までに承認を行うことは困難」と回答し、判断を先送りした。玉城知事は、その理由を国に宛てた回答文書で「県民、行政法学者等から様々な意見が寄せられており、県政の安定的な運営を図る上でこれらの意見の分析を行う必要がある」と説明している。

国は勧告を指示に切り替え、ここでも県が設計変更を承認しなければ、国は福岡高裁に代執行訴訟を起こす見込みだ。(琉球新報)(9月27日)

指示や代執行訴訟(知事の代わりに国交相が計画変更を承認する)を通じて県に対する国の圧力はますます強まるだろう。一方、沖繩では全県選挙や県民投票などで確たる民意が示され続けている。2019年の県民投票では全市町村の投票者の7割超が埋め立て反対の意思を示した。また昨年の知事選挙で玉城知事が勝利した。民意を貫き抜き、辺野古新基地反対闘争に勝利しよう。(中)

映画「ここから『関西生コン事件』と私たち」上映会
●10月24日(火)18:30~
●県加古川総合庁舎1F 講座研修室
●入場料1200円
(問い合わせ先)ひょうごユニオン

ストライキ権の再構築を

仲間の報告と東海林智さんの講演に勇気もらう

2023兵庫たたかう仲間の集会



約120人が集まった会場は闘う姿勢を持った労働者の熱気に包まれた＝9月30日、神戸市中央区

をテーマに掲げた集会だ。冒頭、主催者を代表して藤岡哲彦・集会実行委員長(全港湾神戸支部副委員長)が集会基調の提起を兼ねてあいさつ。「国内でもABCマートではパートへの賃上げ提案に対しパート1人がストに突入、賃上げ提案撤回と約5千人の6%賃上げを表現させた。スローでは学生アルバイト3人とパート1人が全パート・アルバイトの10%賃上げを求めてストに入り、着

「2023兵庫たたかう仲間の集会」が、いつもの春闘期とは時期がずれた9月30日、神戸市・中央文化センターで開かれ、約120人が参加した。「物価高騰・大増税・低賃金・悪くなる働き方に我々はどうか闘うのか!」

替え時間を労働時間に入れた。そこへ、西武百貨店でのスト決行は世間の注目を集めた。兵庫でも県立総合体育館の清掃業務の労働者が組合を結成、スト通告を行い8%の賃上げを実現した。労働組合は闘えなくなると言われるが、労働組合は必要であり、求められている。ストライキ権を生かし団結して闘うことと人らしく生きるために私たちが立ち上がる」と力強く呼びかけた。

その後、3つの職場から闘いの報告があった。全港湾神戸支部車両部会は、人手不足、長時間労働、低賃金などの改善のための、他社の運転手にも呼びかけた運転手交流学習会の取り組みを寸劇風で報告。自治労臨職

評のいたみ指導員労組は、単組結成や定年延長実現など闘いの歴史と共に、今年、理不尽な解雇通告を撤回させた取り組みを報告。郵政産業労働者ユニオン灘支部は、労契法20条をめぐる集団訴訟の結果、灘局の「タスキ裁

判」、大阪東局でのパワハラをきっかけにした分会結成などを報告した。連帯ユニオン関生支部の特別報告もあった。その後、東海林智さん(毎日新聞記者)による記念講演が行われた。(内容の紹介は2面に掲載)

落語と講演で考えた 介護保険の改悪問題

第8回東灘憲法カフェ

「介護保険制度の改悪——来年4月からどう変わる?」をテーマに、憲法を生かす会・東灘とろっころ医療生協共催の第8回東灘憲法カフェが9月29日、横屋会館で開かれ、32人が参加した。

講師は、菊地真千子さん。菊地さんは5年前までろっころ医療生協で訪問介護ヘルパーを担っており、長い間、実母の介護にも携わっていた。カフェの前段は落語の

地さんが介護をネタにした創作落語を披露し、会場ではひっきりなしに笑いが起きた。

菊地さんは、憲法と乖離した介護の実態、利用者負担の原則2割化、要介護1、2を保険本体ではなく、おまけとする「総合事業」一化の動き、ケア

「介護保険制度の改悪——来年4月からどう変わる?」をテーマに、憲法を生かす会・東灘とろっころ医療生協共催の第8回東灘憲法カフェが9月29日、横屋会館で開かれ、32人が参加した。

講師は、菊地真千子さん。菊地さんは5年前までろっころ医療生協で訪問介護ヘルパーを担っており、長い間、実母の介護にも携わっていた。カフェの前段は落語の

地さんが介護をネタにした創作落語を披露し、会場ではひっきりなしに笑いが起きた。

菊地さんは、憲法と乖離した介護の実態、利用者負担の原則2割化、要介護1、2を保険本体ではなく、おまけとする「総合事業」一化の動き、ケア



落語でも介護の問題を訴えた菊地真千子さん＝9月29日、神戸市東灘区

地域ユニオン あちこちあれこれ

組織の現状は高齢化と後継者不足。組織数は増減を繰り返している。この現状を改善するために役員会で議題にあげたが、

出た意見は、「(拡大は)〇〇地域では無理です」と否定的な意見を、積極的に出す役員もあった。

この現状を改善するために役員会で議題にあげたが、

など、対象者によって話す内容も、相手に求める内容も違う。何度も行けないので、私は、『週刊新社会』を配達・集金する過程などで話をするよう

は協力できるが、加入までは考えていない(県職労)、「ユニオン運動はしないし、入らない。退職協定頑張る(JP)」、「何でも協力させてもらう」

いるが労働条件は良くなるどころか、むしろ悪くなる。自分が、という気持ちにならない(JP)、「③は但馬地域が反対票を投じているこ

と、ゆっくりではあるが下部から変化が見られること等々、私たちが相手にわかりやすい言葉で、話し合いができるようにしていくことが求められている。

今後のユニオン組合員の拡大や、もう一歩前に出て労働者運動に入ってくる仲間がいることに自信をもって進めていきたいと思う。

岡田一雄(但馬ユニオン書記長)

改めて拡大への第一歩

出た意見は、「(拡大は)〇〇地域では無理です」と否定的な意見を、積極的に出す役員もあった。

この現状を改善するために役員会で議題にあげたが、

など、対象者によって話す内容も、相手に求める内容も違う。何度も行けないので、私は、『週刊新社会』を配達・集金する過程などで話をするよう

は協力できるが、加入までは考えていない(県職労)、「ユニオン運動はしないし、入らない。退職協定頑張る(JP)」、「何でも協力させてもらう」

いるが労働条件は良くなるどころか、むしろ悪くなる。自分が、という気持ちにならない(JP)、「③は但馬地域が反対票を投じているこ

と、ゆっくりではあるが下部から変化が見られること等々、私たちが相手にわかりやすい言葉で、話し合いができるようにしていくことが求められている。

今後のユニオン組合員の拡大や、もう一歩前に出て労働者運動に入ってくる仲間がいることに自信をもって進めていきたいと思う。

岡田一雄(但馬ユニオン書記長)

美味しい新米のご案内です!

ようやく朝晩はひんやりとした空気になり、身体も楽になってきたのではないのでしょうか。すでに9月分配達から新米をお届けしています。秋を存分に味わって下さい。

さて、10月からの米の価格についてご理解をお願いします。物価の高騰が止むことなく、燃料、包装費等が値上がりし続けていることに加え、10月から始まった消費税インボイス制度が事業者を直撃しています。

小規模業者が消費税の肩代わりを引き受けることは死活問題であることを、どうかご理解ください。

でかんしょ米 (小多田屋米穀店) すべて新米!

10キロ 5,400円 / 5キロ 2,700円 / 3キロ 1,640円

ささや米 (耕しや/阪東農園) すべて新米!

10キロ 5,200円 / 5キロ 2,600円

(玄米10キロ 4,900円 / 5キロ 2,450円)



(有) ぴいふる

電話/ファックス 078(531)0135



おんなの目

外国のメディアのおかげで被害者が声を上げることができたことで、ジャーナリスト喜多川の性的虐待がやっと明らかになった。そのことで改めて日本の人権意識の低さが世界に露呈された。問題なのは、そのことにあまり気づいていないのが私も含めた日本人だということだ。

BBC番組では、ジャーナリストのモヒーン・アザールがジャーナリスト喜多川から性的虐待を受けた被害者に話を聞き、そして疑惑や噂があったにもかかわらず、ファン、メディア業界、日本社会が彼を英雄視し続け、その遺産が今も繁栄している驚愕の事実を知って憤慨していた。

ランキング「180ヶ国・地域中68位。G7の中では最下位。」
9月15日、岸田改造内閣は副大臣26人、政務官28人に2001年制度が始まって以来初めての女性起用ゼロの発表。このような時代錯誤の政治が何十年と脈々と続いてきていることが、今回の性的虐待犯罪を長期間野放しにしてきた根幹だと思う。

「人権後進国」日本

BBCドキュメンタリー番組「JPOPの捕食者 秘められたスキャンダル」をYouTubeで視聴した。どちらも衝撃的だった。日本での人権無視の様々な出来事が重なって胸が苦しくなった。

2002年1月アメリカ東部の新聞「ポスト・ジョン・ゲイガンの児童性的虐待事件(30年間で130人)を暴き、関与した5人の神父を实名で報道。教会が性的虐待を組織的に隠蔽していた事実を裏証した。キリスト教を深く信仰する社会のタブーに挑んだスクープだ。映画では記者達があらゆる圧力にも諦めず、その事実を追跡する姿が描かれている。今から20年以上も前の出来事だ。この報道を契機に、全米各地で集団訴訟が相次いで起された。

人権無視を見て見ぬふりの日本の付度政治、メディア。国連からは何度も人権勧告を示されている。この7月末にも国連ヒジネスと人権の作業部会が人権侵害の観点から調査し、ジャーナリズム問題だけでなく日本国内の様々な分野に重い課題を示した。しかし政府の反応はない。聞く耳持たずだ。岸田首相はきつと「人権」の意味を知らないのだろう。

では、教えてあげよう。人権と聞いては別もの。国連の人権高等弁務官事務所が説明している。「生まれてきた人間すべてに対してその人が能力を発揮できるように、政府はそれを助ける義務がある。その助けを要求する権利が人権。人権は誰にでもある」と。あなたには性被害者はもちろん、日本に住んでいるすべての人の人権を守る義務があるのだ。すぐに実行してください。人権のガラクタス化から脱却するために、メディアは共犯者になるな！声を上げた方々に感謝。(新原三恵子)

コンパス21②6 「新しい戦前」を戦時にさせるな!

額縁厚 澤野義、山城博治ほか著 / コンパス21刊行委員会 / 税込み880円

先日、映画「沖繩、再び戦場に」のレビュー作品を見た。「もう沖繩は戦場になっていく」と嘆く島民の声、避難訓練に子連れで参加した母親の「反対のマイク音で指示の声が聞き取れなくて残念だった」との声に、すでに、沖繩は戦時体制に組み込まれ、住民の分断が進んでいるとの印象を強く受けた。

その第1章は、額縁厚・山口大学名誉教授による「今こそ非武装中立・非同盟政策の提唱を！平和実現の最終方途として」と題した論考だ。

今こそ非武装中立の提唱を

麻生自民党副総裁の「闘う覚悟」発言は、単なる失言ではなく、政権の本音だ。ならば、我々も本気で立ち向かわなければならぬ。

標題の冊子は、「コンパス21」の第26冊目である。学者、弁護士、活動家など9人の執筆者が、いま急速に進んでいる大規模路線を多角的に解析、批判したものだ。コンパクトだが濃密な記述で、われわれの持つべき視点、方向性を明示してくれている。

策の実現こそが現在においてますます重要な政治選択であると強調している。

第2章、「日本国憲法9条2項はナショナリズムを超え得るか」では、加藤晋介弁護士が、憲法9条2項は、近代国家では軍隊を持つのが「普通の国」とされる。ナショナリズムの呪縛を解いた先進的な規定だと評価した上で、現代の戦争は、民衆や共同体のためではなく、「抽象的国家」のために殺し合いをさせられ、「抑止論」「反撃能力論」の行き着く先は独自の核武装でしかないと呼破する。

て、覇権争いの舞台となっている「インド太平洋」を巡る動向、中国に対する見方、日中に歴史的に翻弄されてきた台湾の「自己決定権」問題などが書かれている。

第5章、7章、8章では、軍備拡大と戦争体制づくりについて、秘密保護法、土地規制法などの運用の状況、南西諸島の軍事要塞化の現況と闘いについての記載だ。

そして、最後の第9章が、「非武装中立論」——そのリアリズムの歴史」とした論考だ。日本社会党が「平和四原則」から、非武装中立を基本政策に据えるに至った経緯や、特に石橋政嗣元書記長・委員長の提起した「非武装中立論」をますます積極的・今日的意義を持つものとして紹介している。

やれ、「北」によるミサイル発射だ、Jアラートだ、中国の領海侵犯だ、台湾有事だなど、連日、洪水のように繰り返される危機感キャンペーンで、われわれの心が消されがちになっている。

非武装中立こそ最もリアルで唯一な戦争回避策であることをこの冊子で再確認し、高らかに訴え続けよう！ (小池良樹)

本棚

国葬の日

1年前の2022年9月27日、「安倍国葬」が行われた。私はその日、新社会党北総支部の仲間と共に「国葬反対」のプラカードを持って駅頭に立ちながら、国民の6割が「国葬」に反対だという世論調査結果を肌で感じていた。しかし、大島新監督は、その6割反対に

疑問を持ったことがこの映画を作る動機になったという。

映画は、会場になる武道館周辺の早朝の風景から始まる。全国から10か所を選んで、「国葬の日」の一日の風景やインタビューを繋ぎ合わせて映画は作られている。説明のナレーターや雰囲気を感じ上げる音楽は全く排除された淡々とした構成で決して面白い映画ではない。しかし、その分、事実としての日本の実相が浮かび上がってくる印象があった。



撮影場所に、沖繩、福島が選ばれている。安倍政権によって翻弄され続けたところである。沖繩では辺野古新基地の工事に反対する座り込みが映し出される。マスコミでは全く取り上げられない今の辺野古の姿をこの映画で見ることが出来る。プラカードを持って座り込みをする人の倍ほどの数の警官がその後ろに立ち並び、ダンブによる土砂搬入の時間が来るとマイクでやさしく立ち退きを促し、動かない人は4人で抱きかかえて移動させる。そんな光景が毎日のように繰り返されているのだろう。その日は、

「安倍国葬反対」の手書きのプラカードも掲げられていた。

福島の南相馬の映像は、屋敷をする孫を見守る祖母へのインタビューである。どちらかといえば反対「と遠慮深げに言う彼

女が見るテレビ画面は、国葬に16億6千万円の国費を投じたことを報じていた。

安倍事務所のある下関、殺害現場の奈良も選ばれている。奈良では、安倍元首相を信奉する青年が

登場しその功績を語る。国葬に賛成する人は「安倍さんは頑張っていた」と口にするが、具体的にどんなことを評価するのかは明確にならない。結果よりも「やってる感」を重視する安倍政権の手法が国民に浸透していることを感じる。東京では国葬反対の集会の様子が映される。一方で、それ以上の人たちが長い行列を作って献花に訪れている現実がある。

国葬が行われる直前に水書にあった静岡の清水市にもカメラが入っている。一人で後片付けに苦勞する女性とボランティアに來た高校生とのやり取りが映される。笑いを取らないという重たい

現実がそこにはある。

元町の小さな映画館に大島新監督が舞台挨拶に來るといのでそれに合わせて映画を見ることにした。登壇した監督は、大島新監督の息子さんと、面長の陰影の深い顔立ちにその面影があった。テレビ業界の視聴率至上主義に自分の居場所を見つけれずフリーになったと自己紹介があった。

メディア対策に熱心だった安倍政権を思うと、彼の死をきっかけにこの映画が作られたことが皮肉にも感じられる。今後このような「政治的な」映画が作られ映画館で上映されることを強く願っている。(W)

監督 大島新 / 2023年 / 日本 / 88分

シネマランド

その日の各所の風景で見る日本の実相

その第1章は、額縁厚・山口大学名誉教授による「今こそ非武装中立・非同盟政策の提唱を！平和実現の最終方途として」と題した論考だ。

額縁氏は、「安保三文書」には①対米従属の極み、事実上の中国敵視論と軍事ブロックへの参入宣言、②国家や国民の総力を挙げた国